

令和5年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	68	学校名	静岡県立磐田西高等学校	記載者	山崎 裕子
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	<b>基本的な生活習慣の確立と高い規範意識の育成により、豊かな人間性を醸成する。</b>	・『あせふこ』の意味と意義を理解し、意識して生活している」生徒90%以上 ・「気持ちの良い挨拶を自分からしている」生徒80%以上 ・「制服（頭髪を含む）を正しく着用している」生徒90%以上	A	A	・制服等、おしゃれをしたい年代なので、ギリギリで頑張っているなの子もいたと思いますが、他校と比べたら、おしゃれしたいんだな程度に感じました。 ・校風なのか、しっかりしている生徒がほとんどです。 ・校舎内（生徒がいる教室）には、入ったことはあまりないが、敷地内なども美しい状態が維持されている。
		・日々の学校生活の中で個々の生徒に声を掛けている。 ・「ルールやマナーの意義について考え、主体的に守ることができた」生徒80%以上	A	A	
		・「8:25 朝読書開始を守っている」生徒80%以上 ・「チャイムと同時に授業開始の準備ができている」生徒90%以上生※5 ・「次の予定と時間を意識した行動をしている」生徒80%以上	A	A	
		・清掃点検の実施 年20回 ・部活動一斉清掃の実施 年4回	B	B	
イ	<b>生徒が主体的に学ぶ姿勢の形成を促し、確かな学力と幅広い教養を育成する。</b>	・「他教員の授業を見学し、自らの授業改善を行った」教員80%以上	B	B	・アンケート機能など使うことが目的とならないことが重要 ・「他教員の授業を見学し、自らの授業改善を行った」とする目標

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ICTを活用する授業を行っている」教員 80%以上</li> <li>・「情報セキュリティーを意識しながら学習支援ツール教育用クラウドサービス等を活用した」教員 80%以上</li> </ul>	B	B	<p>は、他の項目と比べ比較的容易とも思えるが、未達の教員の理由が明確でない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の家庭学習時間補償のしくみがあることが大変ありがたいことと感じた。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒による主体的な活動や生徒同士の対話のある授業・諸活動を行っている」教員 70%以上</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各個人に主体的な活動を促すことはなかなか難しい。ましてや授業に取り入れるともなるとなおのこと。しかし、この取り組みの為す意義はとても大きいものと考えてるので、引き続き創意工夫に取り組んでいただきたい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平日1時間、休日2時間以上の自主学習ができている」生徒 40%以上</li> <li>・「スタディサプリー等を活用して学習している」生徒 70%以上</li> </ul>	C	C	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「測定ツールやアンケートを活用して学習習慣等の改善に対する助言を行った」教員 70%以上</li> <li>・「学校の教育活動で、生徒は『学ぶ姿勢』が身に付いている」保護者 80%以上</li> </ul>	B	B	
ウ	<p>普商併設の特色を生かし、地域・社会と連携しながら、生徒の多様な学習ニーズや進路希望に対応し、自己実現を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校からの進路情報や進路指導は適切である」生徒 90%以上</li> <li>・「学校の進路指導は適切であり、三者面談等は満足のいく内容である」保護者 80%以上</li> </ul>	A	A	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「『双翼タイム』は、自己の在り方生き方を考えなが</li> </ul>	B	A	

		<p>ら、課題を発見し、解決する力の向上に役立っている」生徒70%以上</p>			<p>・興味がある資格等には積極的に挑戦していただきたい。それこそ学科や将来に関係するものに限らず、チャレンジすることによって得られる成功体験は別の場面でも生きることが多い。こんな資格もあるんだと知る機会が増えるだけでも価値があるように思う。</p>
		<p>・「個人で、または部活動や委員会活動を通して、地域行事やボランティア活動、国内・海外研修等に年1回以上参加した」生徒60%以上</p>	B	B	
		<p>・「図書館を通じた読書活動の推進が活発に行われている」生徒60%以上 ・「年間7冊以上の本を読む」生徒70%以上</p>	B	B	
		<p>・「進学補習を活用した学習や資格・検定試験に挑戦した」生徒50%以上</p>	B	B	
エ	<p>人権を尊重し、多様な価値観を認め、互いに支え合う姿勢を土台とした人間関係形成力を育成する。</p>	<p>・いじめ等に関する指導案件なし ・「人権や情報モラルに関する講座や授業を通して、人権意識が向上した」生徒80%以上</p>	B	B	<p>・スマホユーザーの方が多いと思うので、スマホページにした方が、もっと閲覧されるのではと思います。 ・LGBTに対する対応は職場でも非常に難しい。</p>
		<p>・相互に円滑なコミュニケーションを図ろうとする姿勢・雰囲気がある。</p>	B	B	

		<p>・「先生方は私の良いところを認め、意欲や向上心が高まる言葉をかけてくれる」生徒 90%以上</p>	B	B	
		<p>・「学校生活の悩みについて、先生方やスクールカウンセラーに相談できる」生徒 70%以上</p> <p>・「先生は保護者からの連絡・悩み・相談したいことについて、適切に対応してくれる」保護者 85%以上</p>	A	A	
オ	家庭や地域等との連携を基盤とした、安心・安全で信頼・応援される学校づくりを行う。	<p>授業や学校・学年行事、部活動等の様子をホームページ等で積極的に広報し、学校に対する地域の理解を深める。</p>	B	B	<p>・地域での朝の挨拶などきちんとできていて、地域住民とのコミュニケーションもとれている方だと思う。</p> <p>・災害時の対応については現在もHOTな話題でもあると考える。学校の対応は既存のノウハウで十分にまかなえると思うが、登下校時や部活動時など様々な場面での訓練、もしくはそれを生徒自身にイメージさせるだけでも、より意識的な向上につながると考える。</p>
		<p>生徒向け、保護者向けの各種たよりのデジタル配信を推進し、ペーパーレス化を図る</p>	A	A	
		<p>防災・交通安全・健康に関する講座や活動の実施により、命を守り、健康を増進する意識を向上させる。</p>	A	A	
		<p>コンプライアンスに関する月例研修や日常的な相互の声掛けにより、教職員が危機管理意識を向上する。</p>	A	A	
		<p>学年・分掌・部活動等の各部署において、学校経営予</p>	A	A	

		算等の適正な執行及び会計報告を行う。			
カ	生徒及び教職員が、生き生きと学校生活を送り、学び続ける意欲を持つことのできる環境を整備する。	学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動等において、生徒が主体的に活動できるよう教職員が伴走者としてサポートする。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動など、学校側に大変助けられた部分がある。</li> <li>・負担をかけてしまったことに大変申し訳ないと思っています。</li> <li>・コロナあけ、ボランティアが一気に増加している。</li> <li>・教職員の業務は要改善を必要と感じる。</li> <li>・業務の平準化などに関してはすぐに改善に至るほどの激しい変化は起こりにくいと思っている。なだらかでも良いので少しずつでも軽減されていくことを願う。</li> </ul>
		校内施設・設備、備品・消耗品等の整備・点検を定期的に行い、修繕等の対応を迅速に行う。	A	A	
		各分掌の主催による教職員研修やキャリアステージに応じた主体的な自己研鑽を通じて、一人一人の教職員が自らの資質能力を向上させる。	A	A	
		業務の平準化に取り組むとともに、分掌の業務を「無くす」「減らす」「変える」の視点で見直し、負担感・多忙感の改善に努める。	C	C	
		生徒完全下校時刻(19:30)を守らせるとともに、教職員は効率的な業務遂行に努め、週1回の割合での定時退勤に努める。	B	B	